

令和7年度事業報告

I 事業の概要

1 債務保証事業、肉用牛担保管理事業等

(1) 債務保証事業

家畜商組合が肉用牛等預託事業を実施するために必要な資金を借り入れる場合に、その借りに係る債務保証を実施した。7年度の取組高は、6組合 1,499 百万円(前年同期 1,566 百万円)、年度末債務保証残高は、8組合 2,709 百万円(前年同期 2,419 百万円)となった。

なお、肉用牛導入支援事業(農畜産業振興機構補助事業)に基づき、債務の保証及びその代位弁済に充てるための預託牛導入保証積立預り金の運用管理を行った。

(2) 肉用牛担保管理事業等

肉用牛担保管理事業に取り組んだ組合は3組合であり、独立行政法人家畜改良センターの個体識別情報との照合を行った。金融機関からの借入に係る年度末肉用牛担保管理残高は、898 百万円(前年同期 649 百万円)である。

乳用牛担保管理事業は平成28年度に創設され、同事業に取り組んだ組合は1組合であり、独立行政法人家畜改良センターの個体識別情報との照合を行った。金融機関からの借入に係る乳用牛担保管理残高は43 百万円(前年同期 38 百万円)である。

また、債務保証対象預託牛の在庫確認業務として、組合の在庫確認対象預託牛の個体識別情報と家畜改良センターの個体識別情報との照合及びその結果等の組合への報告を行った。

(3) 肉用牛預託事業

肉用牛流通促進事業(農畜産業振興事業補助事業)の事業実施主体として、肉用牛預託事業を実施(平成29年度から)した。当協会が肉用子牛等を導入し、協会の会員の組合員に預託した。同事業への参加組合員は21者、参加組合は9組合であった。年度末の肉用牛預託事業残高は、893 百万円(前年同期 892 百万円)である。

また、肉用牛流通促進事業の対象外の肉用子牛等を対象とする協会独自の若齢子牛等預託事業を実施(令和2年度から)した。同事業への参加組合員は7者、参加組合は5組合であった。

年度末若齢子牛等預託事業残高は、58 百万円(前年同期 46 百万)である。

なお、株式会社 MEI farm の破産申立開始の通知後、令和7年8月19日付けで同社及び同社代表個人について、破産手続開始が通知された。

令和7年11月18日及び令和8年2月17日に徳島地方裁判所美馬支部において債権者集會が開かれ、管財人弁護士から経過報告等があったが、手続きは未了である。同社への立替金等35 百万円が未収である。

2 家畜商の営業保証金供託代行事業の実施

新規供託及び廃業者の供託払戻の代行業務の件数は次のとおりである。

- ・ 新規供託 24件（前年 24件）
- ・ 廃業者払戻し 38件（前年 28件）

3 家畜の取引に関する調査研究、普及啓発事業（農畜産業振興機構補助事業）

(1) 預託牛導入の拡大に向けた運用体制の構築事業

家畜商組合における預託導入拡大に向けた運用体制の構築や資金調達方法等を検討するための会議の開催、現地調査及び地域へのフィードバック等を実施し、意欲ある生産者が預託事業に取り組みやすい体制の整備を進めた。

ア 預託事業運用体制検討委員会等開催

事務担当者会議（3回）、預託事業運用体制検討小委員会（3回）及び預託事業運用体制検討委員会（3回）において、国及びALICの繁殖牛導入に係る支援事業の仕組みや各組合の繁殖牛預託の実施規程の比較検討、畜産経営の財務状況等を勘案した審査手法とその実施方法、預託債権管理システムを活用した経営分析結果、経営破綻した者へ対応事例等を報告し、検討を行った。

イ 預託事業の普及推進等

預託事業を普及推進するため、協会預託事業活用者の掘起こし（現地調査2組合）、及び協会預託事業活用者の重点普及巡回（8組合）を行った。

ウ 預託事業参加者の経営分析

預託事業参加予定者（個人11者、法人11者）の経営分析シートを作成し、審査委員会の審査等に活用した。

エ 啓発普及資料の作成、配布

預託牛の拡大に向けた運用体制の構築事業報告書（200部）を作成し、関係先に配布するとともに、会議等で活用し、啓発普及を行った。

(2) 健全な家畜取引推進のための啓発普及事業

会員組合の協力を得て、家畜市場利用者のインボイス登録状況及びインボイス制度にともなう家畜市場における取引価格について調査・集計（11組合と委託契約を締結）し関係者に情報提供を行った。

また、家畜取引法及び家畜商法に関するポスターを作成し、全国の家畜市場・畜産関係先に配布し、啓発普及を行った。（2種、約3,000枚、200箇所）

さらに、家畜商講習会の教材としても利用されている「家畜取引の知識」を改訂することとし、企画・編集委員会を設置して執筆依頼をするとともに、家畜商の活動状況等に関する調査

を実施（23 組合と委託契約を締結）し、結果を改訂に反映させた。

（3）家畜の流通改善・発達事業の実施（農畜産業振興機構補助事業）

ア 肉用牛流通多様化推進事業

家畜市場において生産者がより多様な購入先及び遠隔地から肉用素牛を導入できるようサポートする仕組みである「家畜商データベースシステム」の構築・拡充、利用環境の整備を行うとともに、家畜商組合が行う地域における流通体制の強化、肉用牛生産基盤の強化に対する補助を行った。（2 組合、39 万円）

イ 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業

簡易牛舎等の整備及び子牛用の健康維持に関する器具機の導入費用の補助について、本年度は家畜商組合からの実施希望はなかった。

なお、昨年度実施した簡易牛舎等の整備の管理業務を行った。

2 表彰等地域活性化対策事業

（1）会員組織の活性化事業等の実施

ア 第75回全国優良家畜商の表彰

- ・表彰者：26 名
- ・表彰日：令和7年6月18日（定時総会開催時）

イ 家畜商団体ブロック別協議会に対する参加等

下記の通り各地域で家畜商ブロック会議が開催され、当協会の役員が出席し、畜産に係る中央情勢及び当協会の活動状況を説明・報告するとともに、各地域における会員の実情把握に努めた。

- ・関東肉牛枝肉共進会（10月3日東京都）
- ・東北・北海道連合肉用牛枝肉共進会（10月23日東京都）
- ・東北・北海道連合家畜商大会（11月12日山形県）
- ・岐阜県中央家畜市場開設70周年祝賀会（11月24日岐阜県）
- ・関東ブロック家畜商団体協議会（3月6日茨城県）

ウ 会員団体等が行う地域畜産共進会に対する支援と賞状交付

- ・共進会開催件数 23 件（前年 21 件）
- ・賞状交付 27 枚（前年 26 枚）
- ・副賞交付 43 点（前年 36 点）

エ 家畜商組合等からの推薦者表彰

- ・賞状交付：9 点（東北・北海道）
- ・副賞交付：9 点 ”

オ 組織対策事業

会員の組織運営の活性化に資するため、会員が実施する諸活動に対し、12 会員、1,774 千円（前年 11 会員、1,559 千円）を助成した。

カ その他

関東ブロック協議会が開催する枝肉共進会について、同協議会から委託を受けて東京食肉市場内で共進会を実施した。

(2) 中央団体、関係機関との連携活動

ア 適宜に開催される中央会員連絡会議等に参加し、畜産関係情報の収集を図るとともに、施策の円滑な実施等に関して中央畜産関係団体及び関係機関と意見交換を行った。

イ 農林水産省及び農畜産業振興機構が主催する畜産関係諸対策の説明会等に参加し、情報の収集を図り、会員に情報を提供するとともに、関係団体の取組状況の把握に努めた。

(3) 家畜商移動状況の調査

令和 7 年中における家畜商の移動状況を都道府県畜産課に依頼して調査した結果、令和 7 年中の新免許取得者数 252 名、登録削除者数 427 名であり令和 7 年末現在の家畜商登録者数は 43,412 名（前年対比 175 名減）となった。

II その他報告事項

1 総会、理事会等の開催等

(1) 定時総会の開催

日時：令和 7 年 6 月 18 日

場所：馬事畜産会館 会議室

報告：第 1 号報告 令和 6 年度事業報告に関する件

第 2 号報告 令和 6 年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

決議：第 1 号議案 令和 6 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）の承認に関する件

第 2 号議案 令和 7 年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法に関する件

第 3 号議案 役員報酬等の額及びその支給基準に関する件

第 4 号議案 長期借入金の借入限度額の設定に関する件

第 5 号議案 役員選任に関する件

(2) 理事会の開催

第1回

日時：令和7年5月27日

場所：馬事畜産会館

報告：令和6年度事業報告・公益目的支出計画実施報告書

決議：第1号議案 令和7年度定時総会の招集及び総会に付議すべき事項について

第2回

日時：令和7年6月18日

場所：馬事畜産会館

決議：第1号議案 会長、会長代行、副会長及び専務理事の選定について

第2号議案 理事会の招集権限に係る順序について

第3号議案 審査委員の委嘱について

第3回

日時：令和7年11月26日

場所：馬事畜産会館

報告：第1号報告 令和7年度業務の執行状況に関する件

第4回

日時：令和8年3月18日

場所：馬事畜産会館

報告：第1号報告 令和7年度業務の執行状況に関する件

決議：第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算（案）に関する件

(3) 全国優良家畜商表彰者選考委員会

日時：令和7年5月27日 第75回全国優良家畜商表彰者選考について

(4) 審査委員会の開催

第1回

日時：令和7年5月27日

場所：馬事畜産会館

議事：令和6年度第4四半期債務保証事業等の実績、令和7年度協会預託事業の参加条件と覚書の締結、若齢子牛等預託事業の参加の許否等

第2回

日時：令和7年8月29日

場所：馬事畜産会館

議事：令和7年度第1四半期債務保証等の実績、事業参加者を經由しない預託牛販売代金の送金方法、債務保証先等の財務状況等

第3回

日時：令和7年12月1日

場所：馬事畜産会館

議事：令和7年度第2四半期債務保証事業等の実績、協会預託牛販売代金の精算、肉用牛流通促進対策事業実施規程及び若齢子牛等預託事業実施要領の一部改正等

第4回

日時：令和8年3月16日

場所：馬事畜産会館

議事：令和7年度第3四半期債務保証事業等の実績、令和8年度流通促進預託事業及び若齢子牛等預託事業の事業参加の選定等

(5) 外部監査

令和7年5月16日及び19日に当協会において、令和6年度決算について、外部監査人(文野公認会計士)による会計に関する監査が行われた。

また、令和8年3月26日及び27日同会計士による令和7年度決算の期中監査が行われた。

(6) 監査

令和7年5月21日に当協会において、令和6年度における業務遂行状況及び収支決算等について監事監査が行われた。

2 会員、役員、入会預り金等の状況

(1) 会員の入会・脱退

ア 入会預り金会員

入会：なし

脱会：なし

イ 会費会員

入会：なし

脱会：なし

(2) 役員の変動状況

役 職	期 首	退 任	就 任	期 末
会 長	0	0	1	1
会長代行	1	0	0	1
副 会 長	6	0	0	6
専務理事	1	0	0	1
理 事	15	1	0	14
監 事	3	0	0	3
計	26	1	1	26

【役員定数】理事：22～27名以内、監事：5名以内

(3) 入会預り金の受入・払戻

受入、払戻共なし

保証積立預り金の受入・払戻

受入あり 北見地方畜産商業協同組合 10,000千円 令和7年6月20日

払戻なし

(4) 内閣府（公益認定委員会）等への届出等

①公益目的支出計画実施報告書の提出：定時総会で承認を得た決算に基づき、令和7年6月26日に内閣府に公益目的支出計画実施報告書を提出した。

・公益目的財産額 : 294,311,819円

・公益目的財産残額 : 0円（令和6年度未完了）

・完了予定年月日 : 平成26年4月1日から平成47年3月31日（令和17年3月31日・21年間）

令和7年度事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。